

**KDDI Flex Remote Access  
iOSデバイスでご利用中のお客さま**

# **Cisco AnyConnectのご利用と移行について**

KDDI株式会社



Ver.1.3



# はじめに : iOS版Cisco AnyConnectについて

## ◆ iOS版 Cisco AnyConnectについて

App Storeにて以下2つのAnyConnectアプリケーションがCisco社より提供されております。(2019/12現在)

Cisco Legacy AnyConnect Ver.4.0.05072		旧来のAnyConnectから名称を変更	iOS6~11
Cisco AnyConnect Ver.4.0.07077~		新しいAnyConnect	iOS10以降 /iPadOS13以降

また、Cisco社からは以下のアナウンスが行われております。

- ・『Cisco AnyConnect』はApple iOSの新しいVPNフレームワークに対応するものとしてリリースした。
- ・旧来のアプリケーションは、『Cisco Legacy AnyConnect』の名称に変更した。今後はバージョンアップは行わない。
- ・『Cisco Legacy AnyConnect』はiOS11.xまでの対応予定。
- ・アプリケーション移行方法は、『Cisco AnyConnect』をインストールして『Cisco Legacy AnyConnect』を削除する方法となる。

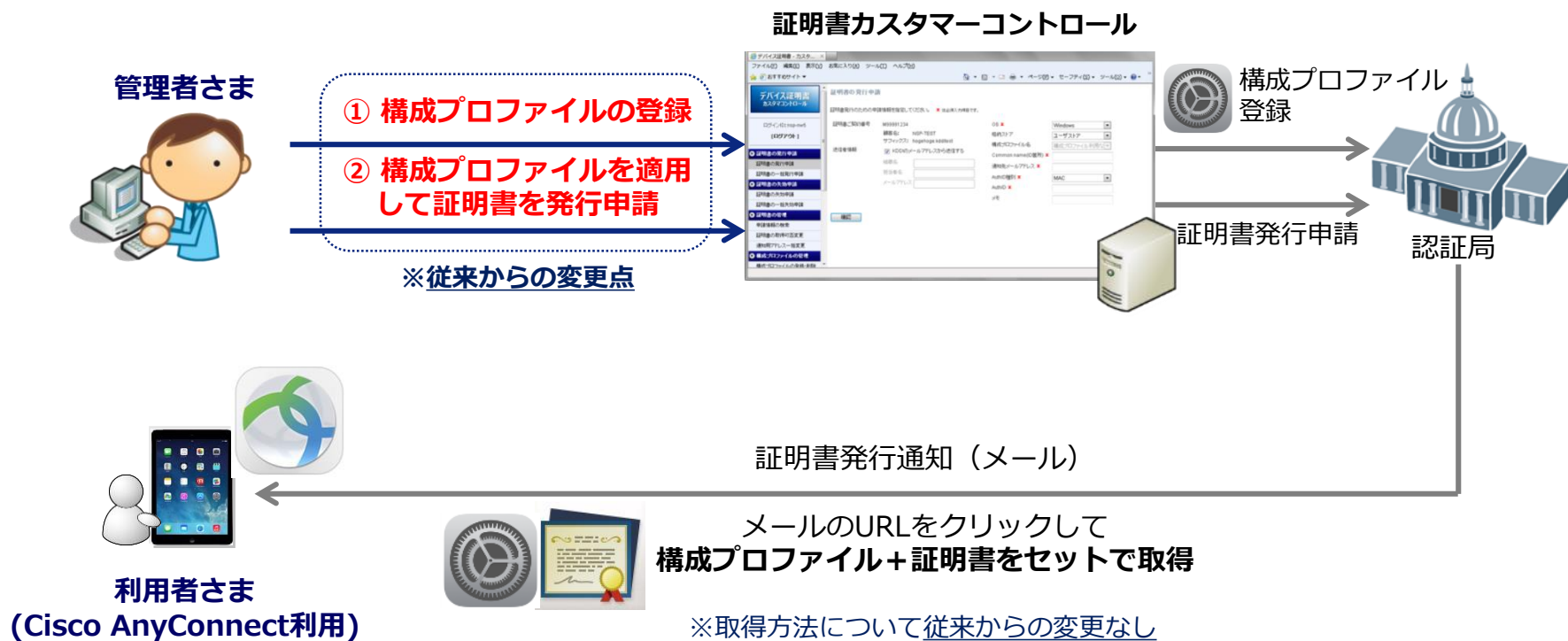
以上より、『Cisco AnyConnect』のご利用を推奨いたしますが、証明書をご利用のお客さまは、**『Cisco AnyConnect』のご利用にあたり、『iOS構成プロファイル』(以後、『構成プロファイル』と記載)を利用した設定が必要**になります。その方法および、『Cisco Legacy AnyConnect』からの移行方法を本書で記します。

# Cisco AnyConnect のご利用にあたって

## ◆ Cisco AnyConnectのご利用について

- ・ ID認証のみの認証方式のお客さまは、従来通りのセットアップでご利用可能です。
- ・ 証明書認証をご利用のお客さまは、証明書発行時に所定の構成プロファイルを適用することでご利用可能です。(利用者さま側には変更点はございません)

## ◆ 証明書認証のご利用の場合



# Cisco AnyConnect のご利用にあたって

## ◆ まとめ

	ID認証のみのお客さま (証明書利用なし)	証明書認証をご利用のお客さま
ご契約の認証方式	RADIUS認証 高機能RADIUS認証 ワンタイムパスワード認証	RADIUS認証 + 証明書認証 高機能RADIUS認証 + 証明書認証 ワンタイムパスワード認証 + 証明書認証 オンデマンド接続 Always-On接続
Cisco AnyConnectの利用	可能	可能
ご利用条件	iOS 10.0以降/iPadOS13以降	iOS10.0以降/iPadOS13以降 <b>証明書は所定の構成プロファイル(注)を適用</b>
セットアップ方法 (管理者さま)	従来通り (ID発行)	<b>①所定の構成プロファイルを作成</b> <b>②証明書発行時に①の構成プロファイルを適用して発行</b>
セットアップ方法 (利用者さま)	従来通り (インストール/FRE接続)	従来通り (インストール/FRE接続)
ご参照ページ	<a href="#">p.7, 8</a>	<a href="#">p.4から順次</a>

注) 所定の構成プロファイルを適用せずに発行・インストールした場合、Cisco AnyConnectにて証明書を認識せず、「KDDI FRE」にて認証できません。

# iOS構成プロファイルの作成について

## ◆ iOS構成プロファイル

- ・ iOSの各種設定情報を記載したxml形式のファイル
- ・ VPNに関する設定が可能で、VPNの設定内で新旧のAnyConnectが認識する記述を行います。

## ◆ 作成方法

- ・ VPNの一部設定に限る場合または、Always-On接続の場合は、証明書カスタマーコントロールの『構成プロファイルの簡易作成』にて作成可能。
- ・ オンデマンド接続のドメインリストの設定を行う場合などは、**Apple Configurator**を利用することで作成可能。(作成した構成プロファイルは**証明書カスタマーコントロール**へアップロードします)

The screenshot shows the '証明書カスタマーコントロール' (Certificate Customer Control) web interface. The left sidebar contains navigation links, with '構成プロファイルの簡易作成' (Simplified Profile Creation) highlighted in a red box. The main content area is titled '構成プロファイルの簡易作成' and contains a form for creating a profile. The form includes fields for '証明書ご契約番号', '顧客名', 'サブドメイン', 'AlwaysOn契約', '構成プロファイル名', '適用アプリ' (set to AnyConnect), '削除時のパスワード', '[KDDI FRE用設定] 接続先URL', 'Proxyサーバの設定', 'paファイルのURL', 'Proxyサーバのアドレス', 'Proxyサーバのポート番号', 'Proxyサーバへの接続ID', and 'Proxyサーバへの接続パスワード'. A '登録確認' (Confirm Registration) button is at the bottom.

証明書カスタマーコントロール

The screenshot shows the 'VPN' configuration screen in Apple Configurator 2. The left sidebar lists various settings, with 'VPN' highlighted in a red box and a red circle containing the number '2'. The main area shows configuration options for a VPN profile, including '接続名', '接続のタイプ' (set to L2TP), 'サーバ', 'アカウント', 'ユーザ認証' (set to Password), '接続の認証タイプ', 'コンピュータ認証', 'AirPrint', 'カレンダー', '共有シークレット', 'グループ名', and '共有シークレット'. A red circle with the number '2' is also present near the 'VPN' option in the sidebar.

Apple Configurator2

# 新旧AnyConnect向けの構成プロファイル

## ◆ 構成プロファイル内の記述の違い

- 新旧AnyConnectに設定するための記述は一部異なります。
- 証明書カスタマーコントロールでは、選択した「適用アプリ」の値によって対応可能なAnyConnectが異なります。(2019/12/12以降)

適用アプリ	対応AnyConnect
<b>AnyConnect</b>	<b>新AnyConnectのみ</b>
Legacy AnyConnect	旧AnyConnectのみ
(非推奨) AnyConnect & Legacy AnyConnect	新旧両方のAnyConnect

- 適用アプリについての詳細は、下記お客さま向けマニュアル(PDF)をご参照ください  
[証明書カスタマーコントロール操作マニュアル](#)

構成プロファイル内のキー	Cisco AnyConnectの場合の値	Cisco Legacy AnyConnectの場合の値
VPNSubType	com.cisco.anyconnect	com.cisco.anyconnect.applevpn.plugin

# 新旧AnyConnect向けの構成プロファイル

## 証明書カスタマーコントロールで 簡易作成した構成プロファイル

～2017/9/19	2017/9/20～2019/12/11	2019/12/12～
Legacy AnyConnectのみ記載	Legacy AnyConnectと AnyConnectの両方を記載	適用アプリの選択値に従って記載
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content;">           &lt;XXX&gt; Legacy版の設定 &lt;XXX&gt;         </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content;">           &lt;XXX&gt; Legacy版の設定 &lt;XXX&gt; &lt;XXX&gt; AnyConnect版の設定 &lt;XXX&gt;         </div>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: 25%;">           &lt;XXX&gt; AnyConnect &lt;XXX&gt;         </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: 25%;">           &lt;XXX&gt; Legacy版の &lt;XXX&gt;         </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: 25%;">           &lt;XXX&gt; Legacy版の設定 &lt;XXX&gt; &lt;XXX&gt; AnyConnect版の設定 &lt;XXX&gt;         </div> </div>
Legacy AnyConnectで 証明書を利用可能 	両方のAnyConnectで 証明書を利用可能  	適用アプリの値によって 利用するAnyConnectの 選択が可能  

## Apple Configurator2などで お客さま独自に作成した構成プロファイル

(記述の仕方により) Legacy AnyConnectとAnyConnectの両方を記載可能

<XXX>  
Legacy版の設定  
<XXX>  
<XXX>  
AnyConnect版の設定  
<XXX>

両方のAnyConnectで証明書を利用可能  
(両方を記載した場合)



# iOS構成プロファイルを適用して証明書を発行

## ◆ 証明書の発行申請

- ・ 証明書の発行申請画面において、先に作成・登録した構成プロファイルを指定(適用)して発行申請を行います。

**デバイス証明書**  
カスタムコントロール

ログインID [ ] [ログアウト]

● 証明書の発行申請  
● 証明書の発行申請  
● 証明書の一括発行申請  
● 証明書の失効申請  
● 証明書の管理  
● 構成プロファイルの管理  
● 構成プロファイルの登録・削除  
● 構成プロファイルの簡易作成  
● 構成プロファイルの変更  
● レポートの出力  
● 監査  
● 管理者アカウント  
● オンラインヘルプ

マニュアル  
お知らせ  
Powered by KDDI

### 証明書の発行申請

証明書発行のための申請情報を指定してください。 \* は必須入力項目です。

証明書ご契約番号 [ ]

顧客名: [ ]  
サフィックス: [ ]

送信者情報  
 KDDIのメールアドレスから送信する

組織名 [ ]  
担当者名 [ ]  
メールアドレス [ ]

確認

### 構成プロファイル名

AC\_NEW

OS \* [iOS]

格納ストア [ユーザストア]

取得方法 [Importer]

署名アルゴリズム/認証局 \* [SHA-2(256) / G3]

構成プロファイル名 [AC\_NEW]

Common name(ID箇所) \* [ ]

通知先メールアドレス \* [ ]

AuthID種別 \* [IMEI]

AuthID \* [ ]

UPN [ ] @ [UPN指定なし]

メモ [ ]

通知メールへの追加文 [ ]

1000文字以内(全角/半角/改行含む)での入力をお願いします。  
入力文字に"<br>"を入力された場合、改行処理が行われます。  
\*改行処理は、通常改行(Enter)で実施可能です。



# Cisco AnyConnectへの移行方法(概要)

お客様の『従来のご利用方式』に該当する欄の移行方法を参照ください

従来のご利用方式	Cisco Legacy AnyConnect からの移行方法(概要)	(参考)選択の基準
<b>A) 証明書の利用なし</b> ID認証のみのお客さま	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>AnyConnectアプリケーションの取得</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>AnyConnectにてVPNの設定を行い、従来のID・パスワードで「KDDI FRE」へ接続</li> </ul> </li> </ul>	-
<b>B) 証明書の利用あり / 構成プロファイルの適用なし</b> 構成プロファイルを利用せずに証明書を発行していたお客さま	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>新規に証明書を発行</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>構成プロファイルを適用した新しい証明書を発行し、端末へインストール</li> <li>インストール後、旧証明書の削除および失効を実施</li> </ul> </li> </ul>	-
<b>C) 証明書の利用あり / 構成プロファイルの適用あり</b> 証明書カスタマーコントロールの『構成プロファイルの簡易作成』にて作成したものを適用して証明書を発行していたお客さま	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) <b>新規に構成プロファイルを作成・新規に証明書を発行</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>構成プロファイルを新規作成し、それを適用した新しい証明書を発行して端末へインストール</li> <li>インストール後、旧証明書の削除および失効を実施</li> </ul> </li> <li>2) <b>既存の構成プロファイルを更新(上書き)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>既存のプロファイルを修正・上書きを行い、『構成プロファイルの変更』メニューにて端末へインストール(端末側の証明書・プロファイルを上書き)</li> </ul> </li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・切り戻しの早さを優先するお客さま</li> <li>・手順を少なくしたいお客さま</li> <li>・2重課金のリスクを排除するお客さま</li> </ul>
<b>D) 証明書の利用あり / 構成プロファイルの適用あり</b> Apple Configuratorなどでお客さま独自に作成された構成プロファイルを証明書カスタマーコントロールへアップロードしていたお客さま	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) <b>新規に構成プロファイルを作成・新規に証明書を発行</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>構成プロファイルを新規作成し、それを適用した新しい証明書を発行して端末へインストール</li> <li>インストール後、旧証明書の削除および失効を実施</li> </ul> </li> <li>2) <b>既存の構成プロファイルを更新(上書き)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>既存のプロファイルを修正・上書きを行い、『構成プロファイルの変更』メニューにて端末へインストール(端末側の証明書・プロファイルを上書き)</li> </ul> </li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・切り戻しの早さを優先するお客さま</li> <li>・手順を少なくしたいお客さま</li> <li>・2重課金のリスクを排除するお客さま</li> </ul>

# A) 証明書の利用なしのお客さま

## ◆ Legacy AnyConnectからの移行方法

利用者さま

① App Store より『Cisco AnyConnect』をインストールします。『Cisco AnyConnect』にてVPN接続の設定を行います。

利用者さま

② 『Cisco AnyConnect』にて「KDDI FRE」に接続します。ID・パスワードは従来のもと同様です。

利用者さま

③ 『Cisco AnyConnect』にて動作確認し問題がなければ、『Cisco Legacy AnyConnect』を端末から削除します。

利用者さま

④ 以後、『Cisco AnyConnect』にて「KDDI FRE」に接続します。

「KDDI FRE」に接続可能なAnyConnect



お客さま向けマニュアル(PDF) :  
[iOS版Cisco AnyConnectの移行方法 \(利用者さま向け\)](#)

## B) 証明書の利用あり・構成プロファイルなしのお客さま

### ◆ Legacy AnyConnectからの移行方法

**管理者さま**  
① 証明書カスタマーコントロールにて、『構成プロファイルの簡易作成』または、手動で作成した構成プロファイルの登録をします。

**管理者さま**  
② ①で作成した構成プロファイルを適用して証明書を発行します。

**利用者さま**  
③ 証明書発行通知メールの内容に従い、②で発行した証明書をインストールします。

**利用者さま**  
④ App Store より『Cisco AnyConnect』をインストールします。

**利用者さま**  
⑤ 『Cisco AnyConnect』にて動作確認し問題がなければ、『Cisco Legacy AnyConnect』アプリケーションと旧来の証明書を端末から削除します。

**利用者さま**  
⑥ 以後、『Cisco AnyConnect』にて「KDDI FRE」に接続します。

**管理者さま**  
⑦ 旧来の証明書を失効します。※月末まで

「KDDI FRE」に接続可能なAnyConnect



お客さま向けマニュアル(PDF) :  
[証明書カスタマーコントロール操作マニュアル](#)

お客さま向けマニュアル(PDF) :  
[iOS版Cisco AnyConnectの移行方法\(利用者さま向け\)](#)

お客さま向けマニュアル(PDF) :  
[証明書カスタマーコントロール操作マニュアル](#)

## B) 補足・ご注意事項

### ◆ 構成プロファイルの簡易作成について

- 『構成プロファイルの簡易作成』の画面にて『構成プロファイル名』および『適用アプリ』を入力し、登録してください。(Proxy設定は任意)
- 登録すると新AnyConnectに対応した構成プロファイルが作成され、認証局へ登録申請を行います。
- 登録が完了するとジョブが完了状態となり、証明書の発行画面で構成プロファイル名が選択可能になります。
- オンデマンド接続用のドメインリストの設定は、Apple Configuratorなどで独自に構成プロファイルを作成します。(AnyConnect側では設定不可)

### ◆ 証明書の新規発行について

- 新規に発行する証明書のCommon Nameは旧来のものと別の名前にするようにしてください。端末側での証明書の削除および、管理者側での旧来の証明書の失効時に分かりやすいです。

### ◆ 構成プロファイルが適用されている証明書の判別について

- 『証明書のレポート』よりCSVファイルを出力し、カラム名『構成プロファイル名』の値が『RA operated by KDDI Corporation...』の場合は適用されていない証明書となり、『Profile...{構成プロファイル名}』の場合は、該当の構成プロファイルが適用された証明書となります。

### ◆ 証明書の課金について

- 一時的に1デバイスに対して2枚の証明書を発行することになりますので、**2枚分の課金を回避するため月末までに旧来の証明書を証明書カスタマーコントロールにて失効**してください。

(毎月月末は申請が混み合いますので、失効申請は余裕を持って行うようお願いします)

(仮に端末側に証明書が残っていても、証明書カスタマーコントロール上で失効完了していれば課金されません)

# C-1) 証明書の利用あり・構成プロファイルの簡易作成のお客さま

## ◆ Legacy AnyConnectからの移行方法(新規証明書発行)

① 証明書カスタマーコントロールにて、『構成プロファイルの簡易作成』を行います。

管理者さま

② ①で作成した構成プロファイルを適用して証明書を発行します。

管理者さま

③ 証明書発行通知メールの内容に従い、②で発行した証明書をインストールします。

利用者さま

④ App Store より『Cisco AnyConnect』をインストールします。

利用者さま

⑤ 『Cisco AnyConnect』にて動作確認し問題がなければ、『Cisco Legacy AnyConnect』アプリケーションと旧来の証明書を端末から削除します。

利用者さま

⑥ 以後、『Cisco AnyConnect』にて「KDDI FRE」に接続します。

利用者さま

⑦ 旧来の証明書を失効します。※月末まで

管理者さま

「KDDI FRE」に接続可能なAnyConnect



お客さま向けマニュアル(PDF) :  
[証明書カスタマーコントロール操作マニュアル](#)

お客さま向けマニュアル(PDF) :  
[iOS版Cisco AnyConnectの移行方法\(利用者さま向け\)](#)

お客さま向けマニュアル(PDF) :  
[証明書カスタマーコントロール操作マニュアル](#)

## C-1) 補足・ご注意事項

### ◆ 構成プロファイルの簡易作成について

- 『構成プロファイルの簡易作成』の画面にて『構成プロファイル名』および『適用アプリ』を入力して、登録してください。  
(Proxyサーバなどの設定は任意)
- 登録すると新AnyConnectに対応した構成プロファイルが作成され、認証局に登録申請を行います。  
登録が完了するとジョブが完了状態となり、証明書の発行画面で構成プロファイル名が選択可能になります。

### ◆ 証明書の新規発行について

- 新規に発行する証明書のCommon Nameは旧来のものと別の名前にするようにしてください。  
端末側での証明書の削除および、管理者側での旧来の証明書の失効時に分かりやすいです。

### ◆ 構成プロファイルが適用されている証明書の判別について

- 『証明書のレポート』よりCSVファイルを出力し、カラム名『構成プロファイル名』の値が『RA operated by KDDI Corporation...』の場合は構成プロファイルが適用されていない証明書となり、『Profile...{構成プロファイル名}』の場合は、該当の構成プロファイルが適用された証明書となります。

### ◆ 証明書の課金について

- 一時的に1デバイスに対して2枚の証明書を発行することになりますので、**2枚分の課金を回避するため月末までに旧来の証明書を証明書カスタムコントロールにて失効**してください。  
(毎月月末は申請が混み合いますので、失効申請は余裕を持って行うようお願いします)  
(仮に端末側に証明書が残っていても、証明書カスタムコントロール上で失効完了していれば課金されません)

## C-2) 証明書の利用あり・構成プロファイルの簡易作成のお客さま

◆ Legacy AnyConnectからの移行方法(既存の構成プロファイル/証明書を上書き)

① 証明書カスタマーコントロールにて、対象の構成プロファイルについて『編集』を行い、プロファイルを上書きします。

管理者さま

「KDDI FRE」に接続可能なAnyConnect



② 証明書カスタマーコントロールにて『構成プロファイルの変更』を行います。

管理者さま



③ 構成プロファイル変更通知メールの内容に従い、構成プロファイルをインストール(上書き)します

利用者さま



④ App Store より『Cisco AnyConnect』をインストールします。

利用者さま



⑤ 『Cisco AnyConnect』にて動作確認し問題がなければ、『Cisco Legacy AnyConnect』を端末から削除します。

利用者さま



⑥ 以後、『Cisco AnyConnect』にて「KDDI FRE」に接続します。

利用者さま



お客さま向けマニュアル(PDF) :  
[証明書カスタマーコントロール操作マニュアル](#)

お客さま向けマニュアル(PDF) :  
[iOS版Cisco AnyConnectの移行方法\(利用者さま向け\)](#)

## C-2) 補足・ご注意事項

### ◆ 構成プロファイルの簡易作成について

・既存の構成プロファイルの『編集』を行うと、『構成プロファイルの簡易作成』の画面になります。

『適用アプリ』を選択し、『登録』してください。

新AnyConnectに対応した構成プロファイルが作成(上書き)され、認証局に登録されます。

・登録後、新規証明書発行(構成プロファイル適用)すると、新AnyConnectに対応した構成プロファイルが証明書と一緒に配布されます。

デバイス証明書  
カスタムコントロール

ログインID: [ ]  
[ログアウト]

構成プロファイル登録・削除

登録する構成プロファイルを指定し、構成プロファイル名をユニークに指定してください。 \* は必須入力項目です。

証明書ご契約番号 [ ]  
顧客名: [ ]  
サブフィクス: [ ]

構成プロファイル \* [ ] 参照...

\* 構成プロファイルは署名していないことを確認してください。

構成プロファイル名 \* [ ]

登録確認

\* 構成プロファイルが登録済みのものと同じ場合は更新となります。

構成プロファイル名	ステータス	登録日	
profile01	処理済み	2017/09/12 17:55:19	ダウンロード 編集 削除

Powered by KDDI

デバイス証明書  
カスタムコントロール

ログインID: [ ]  
[トップへ]  
[ログアウト]

構成プロファイルの簡易編集

\* は必須入力項目です。

証明書ご契約番号 [ ]  
顧客名: [ ]  
サブフィクス: [ ]  
AlwaysOn契約: なし

構成プロファイル名 \* [ np31 ]

適用アプリ \* [ Any Connect ]

削除時のパスワード \* [ ]  
 なし  あり

構成プロファイルの登録・削除

構成プロファイルの簡易作成

構成プロファイルの変更

KDDI FRE用設定

接続先URL [ ]

Proxyサーバの設定 \* [ なし ]

pacファイルのURL [ ]

Proxyサーバのアドレス [ ]

Proxyサーバのポート番号 [ ]

Proxyサーバへの接続ID [ ]

Proxyサーバへの接続パスワード [ ]

登録確認

Powered by KDDI

### ◆ 構成プロファイルの変更について

・変更する端末のIMEIなどを指定いただきますが、複数の「KDDI FRE」に接続できる(複数の証明書がインストールされている)端末については、『構成プロファイルの変更』時に認証局の仕様によりエラーとなります。

その場合は、『C-1)証明書新規発行』の方法を選択してください。

### ◆ 証明書の課金について

・構成プロファイルの変更の方法の場合は、ご利用の証明書の枚数は変わりませんので料金も変わりません。



# D-1) 証明書の利用あり・構成プロファイルを独自作成のお客さま

## ◆ Legacy AnyConnectからの移行方法(新規証明書発行)

「KDDI FRE」に接続可能なAnyConnect

① 構成プロファイルを作成した後、証明書カスタマーコントロールにて新たに登録します。

管理者さま



② ①で作成した構成プロファイルを適用して証明書を発行します。

管理者さま



③ 証明書発行通知メールの内容に従い、②で発行した証明書をインストールします。

利用者さま



④ App Store より『Cisco AnyConnect』をインストールします。

利用者さま



⑤ 『Cisco AnyConnect』にて動作確認し問題がなければ、『Cisco Legacy AnyConnect』アプリケーションと旧来の証明書を端末から削除します。

利用者さま



⑥ 以後、『Cisco AnyConnect』にて「KDDI FRE」に接続します。

利用者さま



⑦ 旧来の証明書を失効します。※月末まで

管理者さま



お客さま向けマニュアル(PDF)：  
・[証明書カスタマーコントロール操作マニュアル](#)  
・(参考資料)iOS構成プロファイル記述方法

お客さま向けマニュアル(PDF)：  
[iOS版Cisco AnyConnectの移行方法\(利用者さま向け\)](#)

お客さま向けマニュアル(PDF)：  
[証明書カスタマーコントロール操作マニュアル](#)

## D-1) 補足・ご注意事項

- ◆ 構成プロファイルの記述について
  - ・ Apple Configurator2にて構成プロファイルを作成する際の記述方法は以下のマニュアルをご参考にしてください。  
『[\(参考資料\) AnyConnect \(iOS版\) に対応するiOS構成プロファイル記述方法](#)』
- ◆ 証明書の新規発行について
  - ・ 新規に発行する証明書のCommon Nameは旧来のものと別の名前にするようにしてください。  
端末側での証明書の削除および、管理者側での旧来の証明書の失効時に分かりやすいです。
- ◆ 構成プロファイルが適用されている証明書の判別について
  - ・ 『証明書のレポート』よりCSVファイルを出力し、カラム名『構成プロファイル名』の値が『RA operated by KDDI Corporation...』の場合は構成プロファイルが適用されていない証明書となり、『Profile...{構成プロファイル名}』の場合は、該当の構成プロファイルが適用された証明書となります。
- ◆ 証明書の課金について
  - ・ 一時的に1デバイスに対して2枚の証明書を発行することになりますので、**2枚分の課金を回避するため月末までに旧来の証明書を証明書カスタマーコントロールにて失効**してください。  
(毎月月末は申請が混み合いますので、失効申請は余裕を持って行うようお願いします)  
(仮に端末側に証明書が残っていても、証明書カスタマーコントロール上で失効完了していれば課金されません)

## D-2) 証明書の利用あり・構成プロファイルを独自作成のお客さま

### ◆ Legacy AnyConnectからの移行方法(既存の構成プロファイルを上書き)

管理者さま

- ① 構成プロファイルを修正した後、証明書カスタマーコントロールにて登録(上書き)します。

管理者さま

- ② 証明書カスタマーコントロールにて『構成プロファイルの変更』を行います。

利用者さま

- ③ 構成プロファイル変更通知メールの内容に従い、構成プロファイルをインストール(上書き)します。App Storeより『Cisco AnyConnect』をインストールします。

利用者さま

- ④ 『Cisco AnyConnect』にて動作確認し問題がなければ、『Cisco Legacy AnyConnect』を端末から削除します。

利用者さま

- ⑤ 以後、『Cisco AnyConnect』にて「KDDI FRE」に接続します。

「KDDI FRE」に接続可能なAnyConnect



（お客さま作成の構成プロファイルの記述内容に依存します）



お客さま向けマニュアル(PDF) :  
[・証明書カスタマーコントロール操作マニュアル](#)

・(参考資料)iOS構成プロファイル記述方法

お客さま向けマニュアル(PDF) :  
[iOS版Cisco AnyConnectの移行方法\(利用者さま向け\)](#)

お客さま向けマニュアル(PDF) :  
[証明書カスタマーコントロール操作マニュアル](#)

## D-2) 補足・ご注意事項

- ◆ 構成プロファイルの記述について
  - ・ お客さまが作成される構成プロファイルのVPNペイロードにおいて、新旧の両方のペイロードを設定するか、または新しいAnyConnectの分のみを設定するかによって、構成プロファイルインストール時の動作は変わります。
  - ・ Apple Configurator2にて構成プロファイルを作成する際の記述方法は以下のマニュアルをご参考にしてください。  
『[\(参考資料\) AnyConnect \(iOS版\) に対応するiOS構成プロファイル記述方法](#)』
- ◆ 構成プロファイルの変更について
  - ・ 構成プロファイルを上書きで登録後に、構成プロファイルを適用して新規証明書発行すると、変更後の構成プロファイルが証明書と一緒に配布されます。  
**構成プロファイルの上書き登録後は、変更前の構成プロファイルを適用して発行することはできなくなる**のでご注意ください。(変更前の構成プロファイルを適用するには、『D-1) 新規証明書発行』の方法を選択ください)
  - ・ 変更する端末のIMEIなどを指定いただきますが、複数の『KDDI FRE』に接続できる(複数の証明書がインストールされている)端末については、『構成プロファイルの変更』時に認証局の仕様によりエラーとなります。  
その場合は、『D-1) 新規証明書発行』の方法を選択ください。
- ◆ 証明書の課金について
  - ・ 構成プロファイルの変更の方法の場合は、証明書の枚数は変わりませんので料金も変わりません。

*Tomorrow, Together*

**KDDI**